

にぎあう三都と交通網の発達

江戸

大阪

京都

三都 とよばれていました。

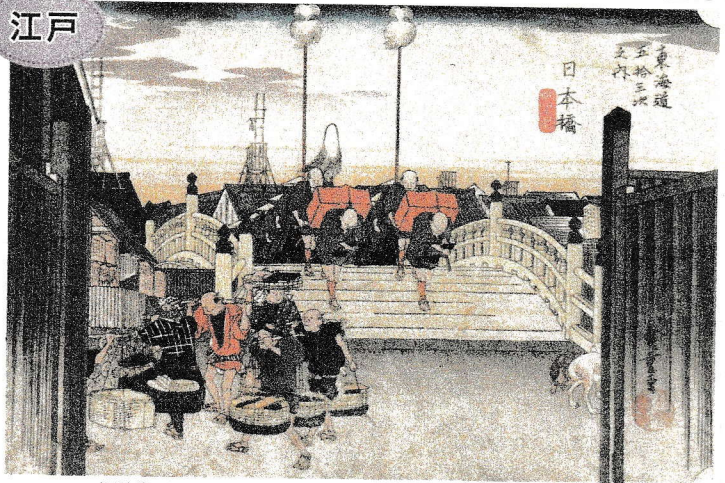
江戸

「将軍のおみぎもと」といわれた。

18世紀初めには人口は約100万人を数え、国内最大の消費地となった。

(江戸の人口の半分は武士であったと推定されています)

江戸



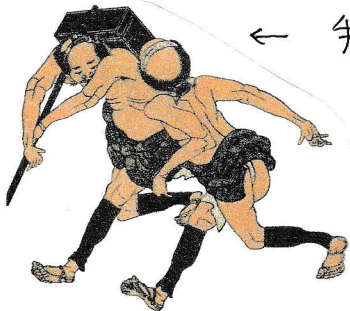
24 江戸の日本橋(東海道五十三次「日本橋」東京国立博物館蔵)

日本橋は、江戸の町の中心にあたり、東海道の起点でもありました。ちょうど大名行列が橋をわたってきています。

江戸を中心に五街道が整えられました。

参勤交代と諸産業がさかんになったことで、陸上、海上の交通路も全国的に整備されました。

← 手紙や荷物を運ぶ飛脚が通信のため用いられた。(戦国時代の馬借に近い)



20 飛脚(富士百撰暁ノ不二) (一部) 郵政博物館蔵)

箱根などの主要な場所に関所を置いて、江戸の防備のため通行人を厳しくとりしめた。